

[05] 地域健康文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26546>

出版情報：地域健康文化学論輯. 5, 2011-09-30. 地域健康文化学会
バージョン：
権利関係：

地域健康文化学会・地域健康文化化学研究所の活動記録 2011.4-2011.9

2011年5月7日(土) 第9回 地域健康文化学会大会

午前10時～午前11時45分

福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室F

内容:

1. ご挨拶・ご連絡

2. 口頭発表

発表:『論語』における「善」について——楽曲評価としての「善」を通して

報告者:荒木雪葉(西南学院大学非常勤講師・西九州大学非常勤講師・中国思想史・比較文化)

発表要旨:『論語』の「子謂韶盡美矣」章において、孔子が楽曲について言及した「善」という言葉について考えることを通して、『論語』における「善」とは何かについて考える。

2011年5月7日(土) 第11回 ワークショップ

午後2時～4時

太宰府市九州国立博物館周辺

内容:

特別展「黄檗」を各自見学の後、展示作品のうち、自分の好きな作品を選び、それをテーマに分析する。のち、博物館周辺で写真撮影。撮影した作品をテーマに分析する。参加者の状態や心理がくっきりと浮かび上がり、自己再発見のきっかけとなった。

2011年5月29日(日) 第10回 地域健康文化学会大会

午前10時～午前11時45分

福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室A

内容:

1. ご挨拶・ご連絡

2. 口頭発表

発表:和辻哲郎の人間存在論と地域学の方法

報告者:荒木正見(地域健康文化化学研究所・九州大学哲学会会長・哲学・比較思想)

発表要旨:和辻哲郎『倫理学』における人間存在論から導かれる地域学の方法論的基盤を考える。

2011年5月29日(日) 第12回 ワークショップ

午後1時～3時

西鉄高宮駅周辺

内容：

デジタルカメラで、大会会場周辺（西鉄高宮駅周辺）で各自撮影し、その作品を自己と荒木正見とで分析した。

2011年7月3日（日） 第11回 地域健康文化学会大会

午前10時～午前11時45分

福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室D

内容：

1. ご挨拶・ご連絡

2. 口頭発表

発表：城山三郎『素直な戦士たち』における松沢秋雄の視点

——英一郎の中学受験から破局までを追って——

報告者：徳永光展（福岡工業大学社会環境学部准教授、日本近代文学）

発表要旨：本発表では『素直な戦士たち』の後半部、英一郎がZ中学校入試に向けて本格始動する場面から破局に至るまでを取り上げ、父親である秋雄がどのような形で関わり、見守っていたかを中心に論じようとするものである。

2011年7月3日（日） 第13回 ワークショップ

午後1時～3時

福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室D

内容：

ブレインストーミングと再統合。提供された写真について各自文字表現し、それを自己自身と荒木正見とで分析し、自己の将来の発展へと開く。

2011年7月24日（日） 第14回 ワークショップ

午後2時～4時

集合場所：西鉄宮地岳線香椎宮前駅前ロータリー

活動地：香椎宮周辺

内容：

写真撮影とその作品によるブレインストーミングと再統合。

各自デジカメで自由に撮影し、出来上がった写真作品について各自文字表現しそれを自己自身と荒木正見とで分析し、自己の将来へと開く。

2011年8月12日（金） 第12回 地域健康文化学会大会

午前10時～午前11時45分

福岡市男女共同参画推進センターアミカス研修室C

内容：

1. ご挨拶・ご連絡

2. 口頭発表

発表：大学は、なぜ学生に「まちづくり」を学ばせなければならないのか。

報告者：松村邦彦（建設大臣認定 再開発プランナー 文京学院大学地域連携推進室長）

発表要旨：大学のUSRにもとづき、大学は地域社会を教育・研究のフィールドと捉え、まちづくりを介して、地域振興の核となる人材を大学教育により養成し社会に輩出する責務を有する。この発表は、その展開を主として、学生の雇用可能性を開発する「ジェネリックスキル」等の養成と「まちづくり」との関係で論述するものである。

2011年8月28日（日） 第15回 ワークショップ

午後1時～3時

集合場所：福岡市美術館2F,総合受付＝チケット売り場前。

活動地：福岡市美術館・大濠公園一带

内容：

ブレインストーミングと再統合。各自写真撮影し、選んだ数枚の写真を自己自身と荒木正見とで分析し、自己の将来の発展へと開く。

2011年9月30日（火） 『地域健康文化学論輯 第5号』(ISSN 1884-3174)

(Journal of Community, Health, and Culture Vol.3) 刊行